

電子部品向けバイオマス複合プラスチック容器の開発

東洋樹脂株式会社

背景・目的

目的:バイオマス配合により、CO₂削減と実用強度を併せ持つ高機能プラスチック製品の量産化技術の確立。

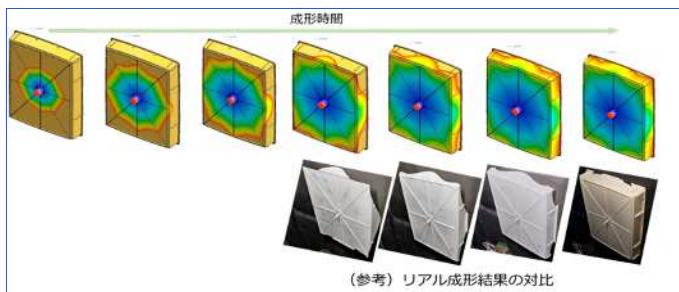
背景:バイオマス30%、50%のプラスチックは強度不足となり実用性の有る製品が得られない。量産適用に向け、原料の調合から見直すことが必要となり開発を行いました。

研究・開発の概要

研究1:使用する原料をPP樹脂、セルロースファイバーとして混練機、添加剤、ファイバーサイズ等を最適化しました。



研究2:実用化に向け、非バイオマス材との機械強度の差異を検証。CAEにより最適デザインを検討しました。



商品化:ポリプロピレンをベース樹脂とした、セルロース纖維配合プラスチックの応用展開が可能となり、実用テストを行っております。



軽量、高強度ドローン機体



140°C耐熱導電トレイ



サステナブルコンテナー

ブースNo J-34にて展示しております。
(正面、出入り口付近)

問い合わせ先

東洋樹脂株式会社 ホームページ
<https://www.toyojushi.co.jp>
 担当:三代川 俊明
 TEL:0493-65-2226
 Mail:miyokawa@toyojushi.co.jp

